

辻議員（共産）

令和元年 9 月 25 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）少人数学級の拡充について

他県では単県持ち出しで少人数学級を実施している中、なぜ広島県では 35 人以下学級が進まないのか、また、35 人学級を中学校卒業まで計画的に拡大していくことを強く求めるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

少人数学級編制を拡充するためには、多額の経費負担を伴うことから、国からの特段の措置なしに行うことは困難であると考えております。

なお、義務教育における少人数学級の拡充は、国が責任を持って標準法の改正を行い、導入されるべきものと考えております。

引き続き、国に対しまして、全国都道府県教育長協議会などを通じ、標準法の改正による 35 人学級の拡充を要望してまいります。